

様式第1号（第5条関係）

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成29年10月30日

和泉市長 あて

団体名 モア21

代表者名 芦田三雄

印

所在地
電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 米作りプロジェクト
2. 事業の概要 田植えから稲刈り、脱穀までの全ての作業を体験する事で
農家の方への感謝・収穫の喜びを感じてもらい、脱穀後の藁
の利用等を体験することで物を大切に作る心を育む。
3. 事業費総額 48,000 円
(うち、対象経費 48,000円)
4. 交付希望額 24,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい) ・ いいえ)
6. 添付書類
(1) 団体概要調書（様式第2号）
(2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
(3) 事業計画書（様式第3号）
(4) 収支予算書（様式第4号）
(5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第5条関係）

団体概要調書

フリガナ	モア ニシュウイチ		
団体名	モア21		
団体の目的	自己研鑽、地域の魅力発見、ボランティア活動を通じて、男女共同参画社会作りを推進する。		
市内事務所の所在地	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話	FAX	同左（ ）
フリガナ	アシダ ミツオ		
代表者氏名	芦田 三雄		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※		電 話
	アシダ ミツオ		
	芦田三雄		FAX
設 立 年 月	2014年03月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有（ 回発行） ・ 無	会員数	13人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	わくわく科学教室の開催、福祉農園の運営、米作りプロジェクトの開催		
主な活動の実績	2016年度、2017年度オアシス事業にて、わくわく科学教室を開催		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	2016	和泉市社会福祉協議会の かがやき基金 オアシス助成金	50,000.- 26,278.-
	2017	オアシス助成金	54,500.-

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

<p>申込事業の名称</p>	<p>米作りプロジェクト</p>	
<p>事業の必要性 *別紙添付可</p>	<p>（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 弥生時代に稲作が盛んであった和泉市の子ども達が、お米はスーパーで買うものと思っている現在、お米を作る為に、気候によつての育成方法や対応策など農家の苦勞や工夫を知るすべもない。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果） そこで私達モア21は、お米が出来る全ての作業を体験してもらふ事で、土地の恵み、農家への感謝の気持ちを育くみ、また子どもの情操教育や健全育成に寄与し、更に副産物の藁を利用して生活用品を作る事で、循環型社会を知ってもらい物を大切にする心を育む。</p>	
<p>事業内容 *別紙添付可</p>	<p>（主な対象者） 和泉市民 参加予定者数 30家族100人 （事業実施期間） 2018年6月から11月の間 （事業実施場所） 池田春日神社横の農園(三林町1383-24) （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） お米が出来るまでの、代掻きから、田植え、生育していく間に生える雑草の除草や害虫の駆除、小動物の営み、そして小金色に育った穂の稲刈り、天日干し、脱穀までの全ての工程を昔の農具を使って実際に体験する。 収穫祭では、新米を食べ、感謝の気持ちや物事を最後までやりきる事の大切さを身をもって体験する。また藁で縄や日用品を制作する。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期 （月） 6月初め 6月中旬 7月 8月 9月 10月中旬 10月末 11月始め</p>	<p>内容 代掻き、 田植え 雑草取り 雑草取り 雑草取り 稲刈り 脱穀 収穫祭、藁細工</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称：米作りプロジェクト

1. 【収入】

（単位：円）

項目	金額	積算根拠
支援金	24,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	24,000	参加費800円×30組
自主財源	0	
計	48,000	

2. 【支出】

（単位：円）

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	20,000	講師謝礼（6月から11月までの全ての作業指導）
消耗品	4,500	稲苗費、稲刈用鎌700円×5本
食料費	6,000	講師（お弁当、飲物代）
印刷製本費	1,500	作業手順書コピー費
使用料	7,200	耕運機、脱穀機、粃摺機 2,000円×3回 会場費
原材料費	8,800	収穫祭用食材、
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	48,000	
対象経費	48,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

参加費の増額

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。